

2025年2月17日

行政機関等 各位

東海労働金庫

預金等調査業務における「預金等調査手数料」新設のお知らせ

当金庫の業務運営に関しまして、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。
労金業態では、デジタル庁・金融庁からの預金等調査業務のデジタル化要請を踏まえて、
2023年4月17日(月)より照会・回答事務を電子化する預貯金等照会システム「pipitLINQ」
および「DAIS」を導入しております。(以下「電子照会」といいます。)

今般、電子照会の導入より一定の期間が経過したことから、預金等調査業務における事務コストを勘案し、書面による照会に対する「預金等調査手数料」を新設させていただくことになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

デジタル化社会実現へ向けたDX推進の観点からも、電子照会を前提とした調査依頼に切り替えしていただきたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1. 適用開始日

2025年4月1日(火) 依頼受付分 ※郵便受付の場合は到着日基準

2. 預金等調査手数料

手数料種類	手数料額(消費税込)	補足説明
預金等調査手数料 (プリント代含む)	1名義あたり 550円	○取引の該当有無に関わらず、1名義ごとに手数料の対象となります。 ○当金庫の定形回答書にて回答します。
追加調査手数料	1名義あたり 2,200円 (預金等調査手数料に別途加算)	①定形外の回答書を作成する場合 ②取引明細表(為替明細・担保明細含む) 以外の追加書類を希望される場合 などが対象となります。

※請求書は依頼案件ごとに発行し、回答書の送付時に同封させていただきます。

【電子照会手数料】 「pipitLINQ」無料 「DAIS」102円(消費税別)/回答データ1件

以上